



ごあいさつ

愛知県バドミントン協会 会長 山田順一郎



このたび末岡熙章会長の後をお引き受けし、歴史ある愛知県バドミントン協会の会長を拝命いたしました山田順一郎と申します。よろしくお願ひいたします。

まずもって、平成21年度から14年間の長きにわたり本会をご指導賜りました末岡前会長のご尽力に対し、心より御礼と感謝を申し上げます。

さて、私は昭和54年度に常務理事として本会組織に入らせていただき、爾来、令和4年度までの44年間の間に種々の役職を拝命し、微力ながら本会の発展のために邁進してまいりました。その間には不行き届きの点が多々あったと思いますが、今となっては私のバドミントン人生におきまして忘れられない思い出ばかりでございます。今後は私に素晴らしい思い出を与えてくださいました愛知県バドミントン協会への恩返しの意を込めつつ、そして前会長の足跡に少しでも近づけますよう、全身全霊をかけ本会会長職を務めさせていただく所存でございます。どうか、会員各位からの倍旧のご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。



=令和4年度愛知県バドミントン協会総会開催＝

令和4年度愛知県バドミントン協会総会を令和5年3月25日(土)刈谷市産業振興センターにおいて開催しました。

95名が出席し、他にYouTubeでのライブ中継で参加した評議員もいました。

開会に先立ち、愛知県バドミントン協会功労賞7名、特別技能功労賞1名、技能功労賞個人13名、6団体と賛助会奨励賞個人14名、7団体の表彰を行いました。

本会では、令和4年度の「県協会全体活動」「専門委員会活動」「各加盟団体活動」が報告され、また、協議事項として、「令和4年度決算」「令和5年度全体事業計画」「令和5年度予算」が提案され、いずれも承認されました。

最後に令和5・6年度役員改選が行われ 末岡会長は名誉会長に、新会長には山田順一郎前副会長が選出されました。総会詳細は以下一覧を参照ください。

令和5年度愛知県バドミントン協会 事業計画

- ア. オール愛知の精神のもと、国民体育大会と第1種大会でのメダル獲得増を目指すとともに、所属選手の国際大会での活躍も支援する
- イ. ジュニア指導者の養成拡大と、次世代指定選手の発掘・育成を図る
- ウ. 新たな普及事業の取り組みを通して愛好者の拡大を図る
- エ. 第3次基盤強化活動を通して業務の効率化やレベルアップを図る
- オ. 第42回全日本ジュニアバドミントン選手権大会を円滑に開催する
- カ. バドミントンS/Jリーグ2023開幕戦を円滑に開催する
- キ. 第73回全日本実業団バドミントン選手権大会の円滑な開催を推進する
- ク. 第74回全日本学生バドミントン選手権大会の円滑な開催を推進する



朝倉理事長挨拶

令和4年度愛知県バドミントン協会表彰

☆特別技能功労賞

西本 拳太(ジェイテクト) <ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン2022男子単優勝他>

☆功 労 賞

小畠 知也(実業団連盟理事) 小川 優(実業団連盟理事)
 森 やよい(教職員連盟常務理事) 林 昌子(レディース連盟理事)
 鈴木由紀江(小学生連盟理事) 岩野 晃(西尾ジュニア監督)
 馬場 直樹(はりーあっぷジュニア監督)



表彰の様子

☆技能功労賞

村本 龍馬(ジェイテクト) <第76回全日本総合バドミントン選手権大会 男子単 第3位>
 小林 晃(ジェイテクト) <第65回全日本社会人バドミントン選手権大会 混合複 第3位>
 磐貝謙太郎(RHBT) <第39回全日本シニア選手権大会 45歳以上男子複 優勝>
 花井 謙吉(紫電会) <第39回全日本シニア選手権大会 45歳以上男子複 優勝>
 岡田 耕作(DAIMON) <第39回全日本シニア選手権大会 50歳以上男子複 優勝>
 青山 伸幸(DAIMON) <第39回全日本シニア選手権大会 70歳以上男子単・70歳以上男子複 優勝>
 源口 哲史(名古屋市立瀬古小学校教諭) <第61回全日本教職員選手権大会 40歳以上男子単 優勝>
 湯海 鵬(愛知県立大学教授) <第61回全日本教職員選手権大会 65歳以上男子単 優勝>
 道家 幸(愛知県レディース連盟) <第39回全日本シニア選手権大会 80歳以上女子複 優勝>
 横尾 雉(大里東ジュニア/稻沢市立稻沢西小学校) <第31回全国小学生選手権大会 女子単6年生以下優勝>
 <第23回ダイハツ全国小学生ABC大会 女子Aグループ優勝>
 角倉 蓮太(西尾ジュニア/西尾市立三和小) <第31回全国小学生選手権大会 男子単4年生以下 優勝>
 玉城 春真(西尾ジュニア/安城市立西部小) <第23回ダイハツ全国小学生ABC大会男子Bグループ優勝>
 宮下 蒼夏(SGUジュニア/名古屋市立井戸田小) <第23回ダイハツ全国小学生ABC大会女子Cグループ優勝>
 愛知県チーム <第77回国民体育大会 成年男子 第3位>
 ジェイテクト<バドミントンS/Jリーグ2022男子 準優勝>
 愛知県チーム <第31回全国小学生選手権大会 都道府県対抗団体戦男子 優勝>
 愛知県チーム <第31回全国小学生選手権大会 都道府県対抗団体戦女子 優勝>
 西尾ジュニア <第38回若葉カップ全国小学生大会 男子の部 優勝>
 はりーあっぷジュニア <第38回若葉カップ全国小学生大会 女子の部 優勝>

令和5・6年度 愛知県バドミントン協会 役員

名 誉 会 長	末岡 熙章
会 長	山田順一郎
副 会 長	山本 卓男 堀尾恵美子 伊藤 一夫
顧 問	鈴木 正一 恵木 康行 清水 光夫 平岩 友憲
	鈴木 勝美 上原 信彦 清水 善勝 下込 貞司 池田 茂樹
参 与	青山 忠雄 田立 昌人 武田 正雄 岩田 崇 伊藤 みゆき
理 事 長	朝倉 康善
副 理 事 長	佐藤 荘二 井上 龍 渡邊 伸也 浅井 淳
総 務 委 員 長	高桑 敏郎(常務理事) 広報委員長 浅井 淳(副理事長)
競 技 委 員 長	内田 公明(常務理事) 審判委員長 武藤 要介(常務理事)
指 導 委 員 長	藤巻 裕昌(常務理事) 選手強化委員長 馬場 直樹(常務理事)
常 務 理 事	峰 登志郎 山田 薫 原 賢一 柿澤 和美 稲垣 翔悟
	市川 聰 永井与志夫 鬼塚新乃介
理 事	橋村 義春 小林 誠 青木 伸也 関 輔
	松本 祐介 高本 俊哉 久原 寿之 池上 信之
	水野恵似子 後藤 功生 中村 圭吾 向坂 健二
	飯田 香里 磐部 美保 平岩喜美子 林 昌子
	片山 溫 佐藤 雅史 加古 伸吾 立松 幹浩
	大島 健太 杉 幸憲 小西出聰子
監 事	山口 武満 川原 雅治



新任の伊藤副会長

第142回 令和5年度 春季愛知県新人バドミントン大会

新年度早々の4月1日(ドルフィンズアリーナ)、8日(パロマ瑞穂アリーナ)で数年ぶりに単複のエントリー制限もなく本来の形で実施された。小学生から社会人まで経験も体格も違う選手たちが、同じ土俵で熱戦を繰り広げた。

男子シングルス

高校生同士の準決勝を勝ち上がった愛産三河高校の井上崑匡と、中学生ホープとの準決勝を勝ち抜いた社会人クラブG.spank近藤俊矢の対戦となった。井上もところどころ見せ場を作るが、近藤がパワフルなショットで終始主導権を握りストレートで優勝を決めた。「体調が万全でなかったが勝ち切ることができうれしい」と語った。



近藤俊矢選手

女子シングルス

新1年生も含め中学生の活躍が目を惹いた。決勝は名経大市邨中学校の3年生田村優衣と2年生熊谷南虹の先輩後輩対決となった。お互いに厳しいコースに緩急をつけながら責め合う。角度のある鋭いショットが持ち味の熊谷が1ゲーム目を取り、2ゲーム目は田村が力強いショットを何本も決めて取り返した。ファイナルゲーム中盤までは一進一退の接戦であったが、折り返し後は熊谷が連続得点を重ね、勝利を掴んだ。「初挑戦での優勝は本当に嬉しい」と喜びを語った。



熊谷南虹選手

男子ダブルス

40代の高井・千葉(SGa/RS NONAKA)組がベスト4に入り新人戦を卒業するなどベテランの頑張りも目立つ中で、決勝は同じ日の朝にシングルス準決勝でもやり合った社会人近藤(G.spank)・服部(BS.MORITA)組と中学生渡邊・澤木(名経大市邨中)組の対戦となった。1ゲーム目の途中までは中学生組もなんとか粘り、競ることができたが、後半から近藤・服部組がラリースピードを上げ一気に突き放した。単複2冠となった近藤は「気持ちよく卒業できる」と嬉しそうに笑った。



(右)近藤俊矢選手・(左)服部秀治選手

女子ダブルス

シングルスと同じくこちらも決勝は、共に準決勝でファイナルゲームの激戦を勝ち上がって来た名経大市邨同士の対戦となった。ダブルスを主戦場とする蟹江・門川のペアにシングルスを主とする田村・宮崎が挑む形となったが、田村・宮崎組がダブルスの経験の少なさをパワーとスピードで補って攻め続け、ストレートで優勝を決めた。「優勝できたことは嬉しいが、自分たちはシングルスプレーヤーなので…」と、シングルス優勝を逃した悔しさも滲ませていた。



(左)田村優衣選手・(右)宮崎結舞選手

種目	優勝	準優勝	3位	
男子単	近藤俊矢(G.spank)	井上崑匡(愛産大三河高)	渡邊楓雅(名経大市邨中)	池田 晴(個人登録)
女子単	熊谷南虹(名経大市邨中)	田村優衣(名経大市邨中)	蟹江咲月(名経大市邨中)	前田百花(中京大学)
男子複	近藤・服部(G.spank/BS.MORITA)	渡邊・澤木(名経大市邨中)	高井・千葉(SGa/RS NONAKA)	片岡・瀬古(SMAGAN)
女子複	田村・宮崎(名経大市邨中)	蟹江・門川(名経大市邨中)	藤井・松下(はりーあっぷ)	大串・高田(名経大市邨中)

(広報 大村 悠介)

大府

JR 大府駅西口徒歩 8 分

バドミントンプロショップ
リーダース グループ

SINCE1979

名古屋一社

地下鉄一社南出口より徒歩 2 分

はりーあっぷ

代表 中口直人

TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

(有)リーダース

代表取締役 壱田修光

TEL・FAX(052)703-2767



明日へ駆ける



第77回愛知県高等学校総合体育大会県大会

令和5年5月20、27日、28日 豊田スカイホールサブ、守山・天白・名東スポーツセンターにて8月に札幌市で開催される全国総体の出場権をかけた総体予選愛知県大会が開催された。新型コロナ感染症の5類扱い後、初めての大きな大会で、これまで子供たちの試合を観戦できなかった保護者の声援も受けながら、気持ちのこもった熱い戦いが展開された。

男子学校対抗戦

決勝は今年も名経大市邨と岡崎城西の対戦となった。市邨が1複寺西・鈴川、2複馬場・櫨、1単毛利、城西が1複加古・植木、2複渡邊・後藤1単竹本のオーダーが3面同時に始まった。2複と1単は市邨がストレートで勝った。1複も市邨の新人戦優勝ペアが1ゲーム目を取ったのであっさり決着がつくかと思われたが、城西のペアが粘りを見せ、2、3ゲーム目を取り、2単に持ちこんだ。2単で市邨寺西が城西後藤と一進一退の攻防を繰り広げ、ファイナルゲームで市邨が辛くも勝ち切り決着をつけた。

その寺西は「落とせない場面で取り切れない、といった面を修正し、全国ベスト8を狙う」と語った。

女子学校対抗戦

決勝は新人戦チャンピオンの岡崎城西に名経大市邨が挑む形になった。1複は市邨向井・清田と高野・山内の対戦であった。1ゲーム目序盤は城西が力のあるショットで攻め続け、一時はリードを大きく広げた。中盤から市邨がレシーブからラリーをしつかり展開し逆転、勢いそのままにストレートで勝った。2複も中上・前田(市邨)が序盤からじわじわと点差を広げ、こちらも2-0で取った。1単は1ゲーム目を城西松久保が市邨近松から競って取る。その間に2単が始まり城西高野が市邨向井に2-0で勝つ。ファイナルゲームにもつれ込んだ1単は2ゲーム目以降、近松がミスの少ない安定したラリーを続け、逆転勝利を收める。結果3-1で昨年の新人戦の雪辱を果たし名経大市邨が団体でのインターハイ出場を決めた。試合後「選抜に出られなかった悔しさをすべてインターハイにぶつけたい、目指すはベスト8」と力強いコメントを寄せた。

結果として学校対抗戦、個人戦ダブルス、シングルスの全国出場権を名経大市邨高校が独占することになった。チーム一丸となって全国で暴れてきてくれることを期待したい。



男 子				女 子		
	学校対抗	複	単	学校対抗	複	単
優勝	名経大市邨	寺西・鈴川(市邨)	寺西(市邨)	名経大市邨	中上・前田(市邨)	近松(市邨)
準優勝	岡崎城西	毛利・馬場(市邨)	毛利(市邨)	岡崎城西	近松・坂奏(市邨)	伊藤(市邨)
第3位	愛工大名電	寺嶋・三木(名電)	鈴川(市邨)	星城	稻垣・岡島(市邨)	向井(市邨)

(広報 大村 悠介)

スポーツごころを世界に。

お知らせ

7月8日(土)県総合の模様を
You TubeでLIVE配信!

詳細は県協会公式サイトで
ご確認ください!

愛知のホープ

すみ くら れん た
角倉 蓮太 (西尾市立三和小学校5年生)



兄弟の影響を受け、6歳の頃に本格的にバドミントンを始めました。幼い頃から様々なスポーツに触れ、体を動かすことが大好きで、走る事も得意です。校内のマラソン大会では、1年生の頃から歴代の記録を毎年更新しています。おとなしい性格に見られますが、見かけによらず、何事にも負けず嫌いで心の内に闘志を燃やしています。

コートの中ではスマッシュからネット前ヘラッシュをかける等、攻撃的なプレースタイルが長所ですが、相手が見えず劣勢な局面を招くこともあります。この辺りを克服することが課題です。暖急をつけたり、逆をついたりすることが苦手ですが、自ら考えて日々練習に取り組む姿が見られるようになります。意識も高くなっていると感じています。

昨年は、若葉カップで西尾ジュニアとして初の全国優勝を果たし、頼りになる先輩や仲間と共に、4年生ながら上級生相手にも引けを取らず全勝をあげ、自信をつけました。続く年末の全国小学生大会では、4年生シングルスの部で同チーム対決となった決勝戦で大接戦の末、勝利を掴み取りました。県大会、東海大会ともに決勝戦で負けている強敵だけに、自分に足らない部分を分析し、しっかりと準備して挑んだ結果で、喜びもとても大きかったです。

U13ジュニアナショナルメンバーにも選出されました。驕ることなく、日々の練習の積み重ねが大切だということを自覚し、全国のライバル達に挑んでほしいです。成長が楽しみです。

(西尾ジュニア 小笠原一徳)

フットワーク

この欄は、連載のコーナーとして県内各チームの紹介や
その他の記事を皆さんに続けてお届けしています。

今回は

日本福祉大学 バドミントン部

を紹介します。

学生連盟に加盟し、男女ともに東海リーグ1部に所属しています。

全学年合わせ39名の部員は、勝利に貪欲で、負けん気が強く、熱血な選手ばかり。

大会会場で自分を奮い立たせるために大きな声を出している人がいれば、それは大体日本福祉大学の選手でしょう。

「ふくし」の穏やかなイメージからは全く想像のできないような熱い試合が繰り広げられるため、「福祉大生っぽくないよね」なんて声もちらほら聞こえたりします(笑)。

バドミントンが大好きな部員が多く、週4回の練習では足りないと自主的に練習しまくる選手や、試合が終わっても、まだバドミントンがしたいと練習場所を探す選手、周りの大学が3年生の秋で引退を迎える中、4年生になっても現役選手として欠かさず練習に来る人など「生活の基準がバドミントン」の人がたくさんいます。皆それぞれにしっかりと目標を持ってバリバリに練習をするので、すごいなあと感心するばかりです。

春に行われたリーグ戦では男女ともに2位と惜しくも目標の「1部リーグ優勝」に一步及ばない結果となり、悔しい思いをしましたが、今年度はインカレが地元愛知県開催ということもあり、現在は「インカレ出場」をチームの目標とし、日々練習に励んでいます。新入生も交え、より一体感のあるチームに仕上がってきています。

「インカレ出場」「1部リーグ優勝」の2つの目標を達成できるよう頑張ります!!

(日本福祉大学 渡瀬美月)



理事長通信

愛知県バドミントン協会
理事長 朝倉 康善



3月25日の令和4年度総会にて役員改選が行われ、これまで14年間に亘って本会をリードしていただいた末岡会長が名誉会長に、そして山田副会長が会長に就任されました。また、永年にわたり本会発展にご尽力をいただきました上原副会長、清水副会長が顧問に、新たに伊藤一夫副理事長が副会長に就任されました。本会の原動力となってご活躍いただいた皆様の人事に際し、改めて本会にとりまして大きな節目を迎えたことを強く噛み締めております。今後は山田新会長のもと、新役員一丸となって多くの課題に対処してまいります。会員の皆様にも一層のご協力を何卒宜しくお願い致します。

さて、本年度は従来以上に普及活動に力を入れ、バドミントンをより身近なものに感じていただけるように取り組んでいきます。中央でもS/Jリーグのあり方を検討し、ファンの拡大に取り組むように聞いておりますし、これらとの相乗効果を果たしながらバドミントンを知らなかった方が目を向け、楽しんでいただけるような年にしたいと思います。

審判連載 ルールブック講座

第8回 「アドバイスとコートを離れることに関して」

池上 信之



競技規則第16条第5項(1)に、アドバイスは「シャトルがインプレーでない場合で、プレーヤーがサービスとレシーブのために位置につくまでの間に限り、プレーヤーはマッチ中に受けることができる」とあります。アドバイスをする、受けるタイミングはくれぐれも注意しましょう。また、(2)に「プレーヤーは本条第2項のインターバルを除き、審判の許可なしに、マッチ中、コートを離れてはならない。もしそのような行為をした場合は、遅延行為とみなされる」と規程されています。コートサイドにシューズ拭きのマットを持参するプレーヤーをよく見かけますが、タオルや水分補給等と同様に主審の許可を取って使用してください。

編集後記

新広報委員長の浅井です。実は8年ぶりの再任となります。この8年で世の中もバドミントン界もいろいろ変革がありました。広報という立場で新しい「バドミントン愛知」を体現していく所存ですのでどうかよろしくお願いいたします。 (広報委員長 浅井 淳)



連絡
投稿

〒453-0851 名古屋市中村区畠江通6-14
広報委員長
浅井 淳(あさい じゅん)

公式サイトアドレス
<https://www.badminton-aichi.com/>
Eメールアドレス
info@badminton-aichi.com



勝つための本物——

GOSEN
www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社/TEL.06-7175-7116 FAX.06-6201-0741

西三河のバドミントン専門店

モリカズリ

豊田市山之手3丁目100番地
☎ <0565> 29-0055